

概算数量設計によるマンホールポンプ設備 更新工事発注方式の概要について

令和4年

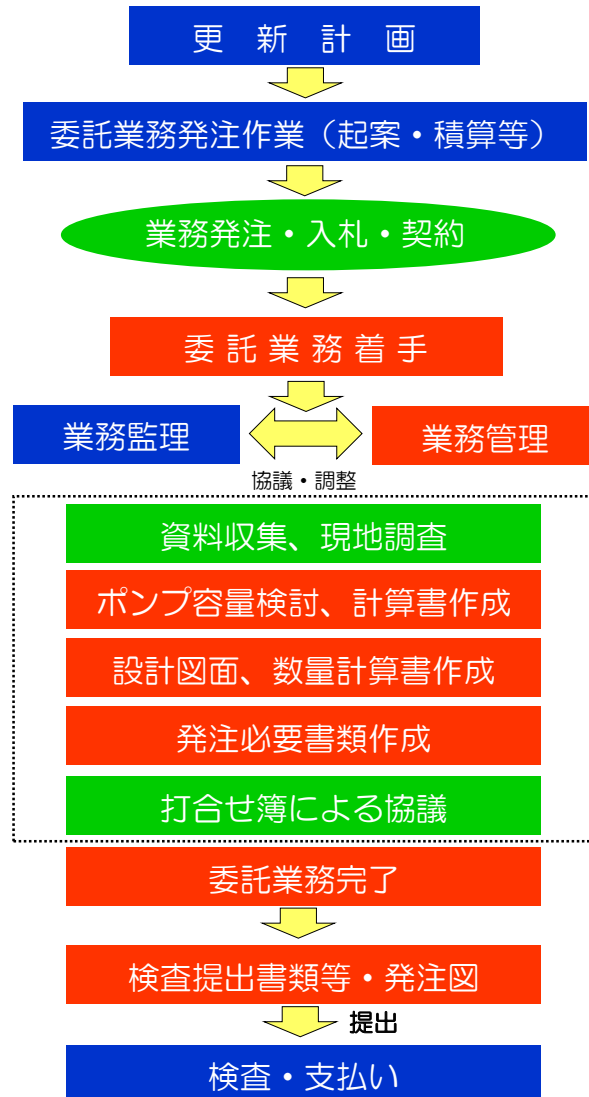
堺市上下水道局 下水道管路部
西部下水道サービスセンター

目 次

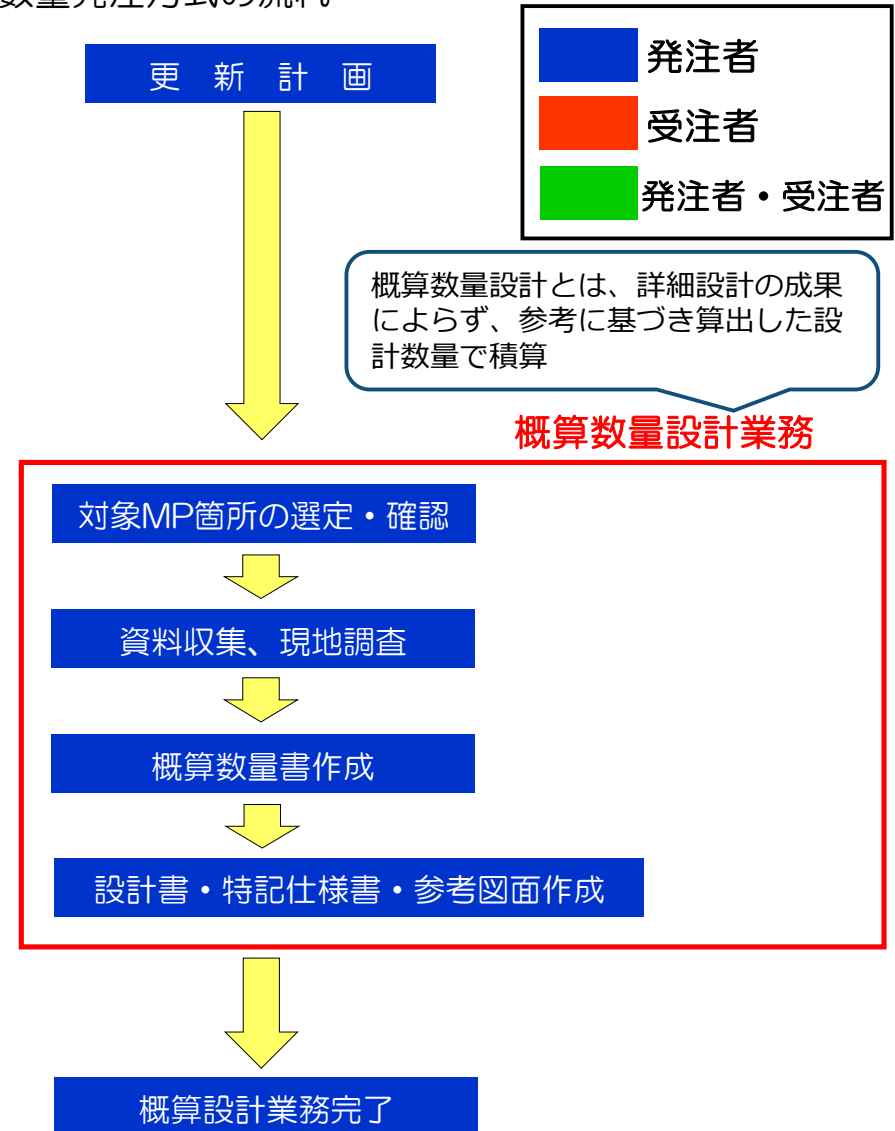
- 従来方式と概算数量発注方式の業務フロー
- 設計業務の内容（概要）

従来方式と概算数量発注方式の業務フロー（1）（発注者・受注者の作業分担）

■従来方式の流れ（委託業務）

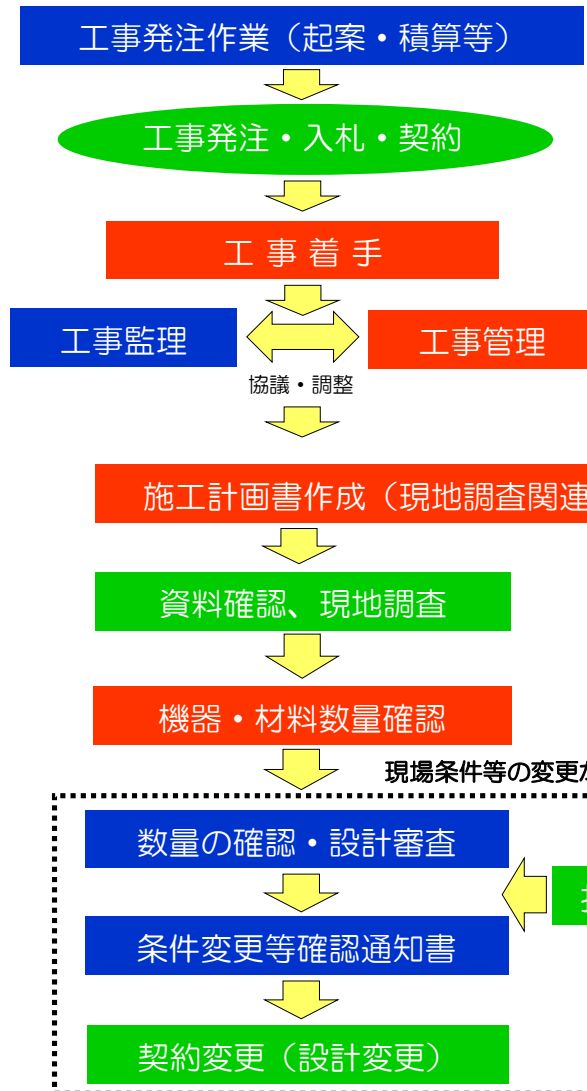


■概算数量発注方式の流れ

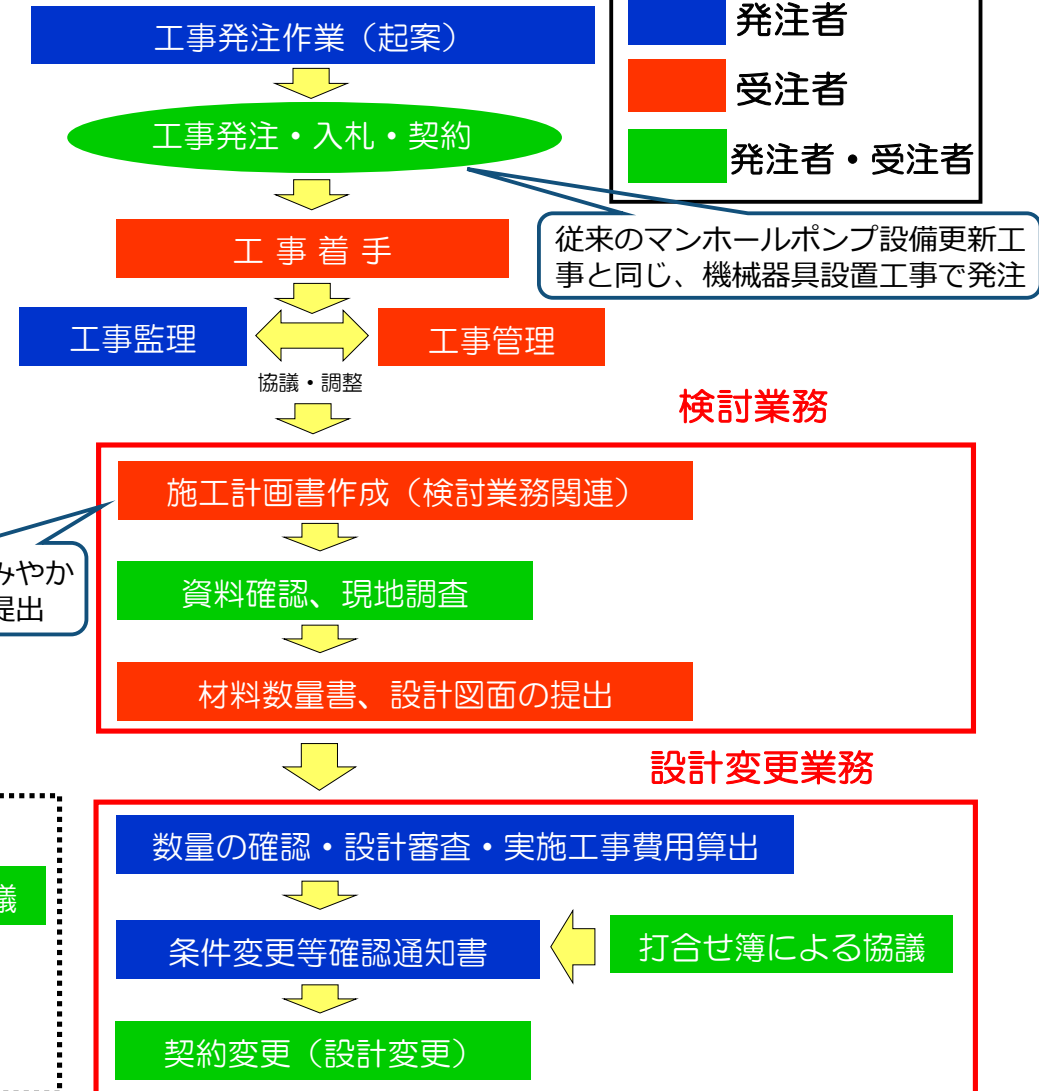


従来方式と概算数量発注方式の業務フロー（2）（発注者・受注者の作業分担）

■従来方式の流れ（工事業務）



■概算数量発注方式の流れ



■ 発注者 (青)

■ 受注者 (赤)

■ 発注者・受注者 (緑)

従来のマンホールポンプ設備更新工事と同じ、機械器具設置工事で発注

契約後、すみやかに計画書を提出

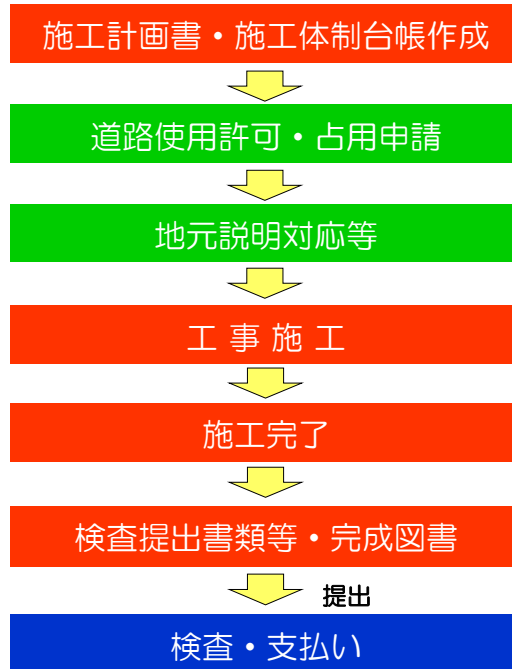
検討業務

設計変更業務

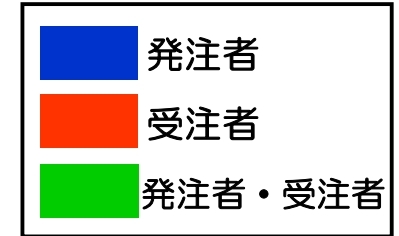
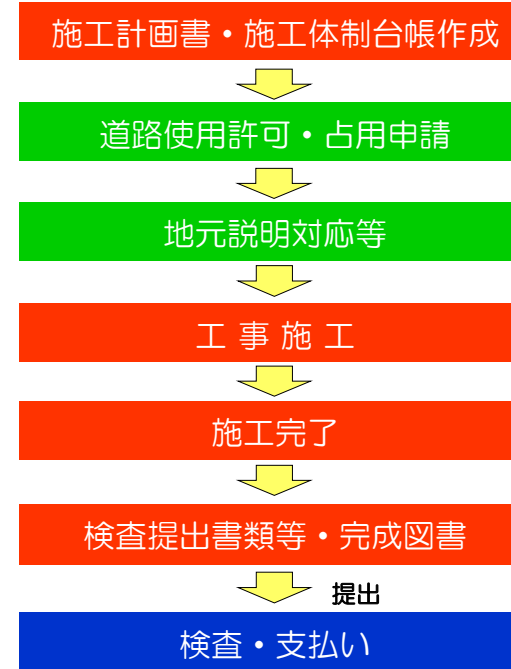
現場条件等の変更が生じた場合

従来方式と概算数量設計方式の業務フロー（3）（発注者・受注者の作業分担）

■従来方式の流れ（工事業務）



■概算数量発注方式の流れ



設計業務の内容（概要）

1) 現地調査

受注者は、設計図書に示された現地の調査を行い、沿道の状況等の現地状況を十分把握するものとする。
また、現地調査の結果をもとに、材料数量書と設計図面を作成するものとする。

2) 資料確認

受注者は、工事施工に必要な資料について、監督員の下承を得た上で、設備図書等を借り受け、設計図面や工事方法の検討を行う事とする。

3) 設計図面（成果図面）作成

受注者は、現地調査、資料の収集・調査結果を踏まえ、平面図（マンホールポンプ配置図）、マンホールポンプ据付図、マンホールポンプ電気設備図、マンホールポンプ配線図を作成するものとする。

4) 材料数量書作成

受注者は、作成した設計図に基づき、小配管弁類、鋼製加工品、電線類・電線管類、防波管等の数量を取りまとめるものとする。

5) 設計成果の提出

受注者は、設計成果（上記3）、4）を工事打合せ簿にて監督員に提出し、承諾を得るものとする。承諾後、設計成果の電子データ1部を監督員に提出するものとする。

6) 検 査

検討業務に関する検査については、工事完成検査とあわせて行うものとする。